

第1回 教育課程編成委員会

日時 令和6年9月27日（金）

15:00～

場所 関西保育福祉専門学校
校長室

委員名簿

関西保育福祉専門学校教育課程編成委員会設置要綱

次 第

【報告】

- 1 教育課程編成委員からのご意見とその対応について
- 2 学校の現状について
 - (1) 2023（令和5）年度卒業生 進路決定状況
 - (2) 2024（令和6）年度入学生の状況
 - (3) その他

【協議】

- 1 2024年度の取り組み
 - (1) 2024年度関西保育福祉専門学校事業計画
 - (2) 保育科の取り組み
 - (3) 授業アンケート調査結果
 - (4) 学生生活実態アンケート
 - (5) その他

教育課程編成委員からのご意見とその対応について

2023 年度（R5 年度）	2024 年度（R6 年度）
1.ベンチマーク、実習評価について ・ベンチマークや教育目標と実習評価を連動させるには、園と共有して実習度どうだったかを園につけてもらい、自己評価と他者評価を比べることで、学生の気づきや学びが増える。 2.疾病対応について ・今、求められるのは、アレルギー対応。特に食物アレルギーへの対応が大事である。 ・熱中症対策の重要性の高まりがあり、水分補給の必要性等を知識として持つておくことが大切である。 ・とっさに動けるための知識をもっておけるような養成教育が必要である。 3.ICTアンケート・ICTの活用について ・WORD、Excellを活用できる力が、必要である。 ・園、施設の対応にもよるが、ICTでの記録の活相を前向きに考えることが大事である。 ・個人情報の取扱いについて、養成校で教育しておくことが、求められる。 ・本校のInstagramに興味・関心を持つことができる。 4. 授業アンケートについて ・授業アンケートの目的、それぞれの項目の具体的な内容を、一人一人の学生が理解し真摯な態度で答えていけるようにしていくことも大切である。 5. その他 ・学生自身が、人権感覚を育めるようにしておくことも必要である。	1. 実習評価について、学生と個人懇談を行い、自己評価と他者評価の差異について考え、今後の課題としている。引き続き個人面談を実施し、学生一人一人の強みを育てていくようにする。 2.実習指導等において、現在の子どもがおかれている社会状況や環境についてさらに学生の理解が深まるように説明をし、子どもの生命を預かる仕事に就くことの重大さを意識できるよう取り組む。 3. 1年次前期にICTの基礎 後期に応用の授業を行いさらに、現場で活用できるようWORD、Excellのスキルアップに取り組んでいく。 4. 引き続き授業アンケートのそれぞれの内容を一人一人の学生が理解して答えられるようにするとともに、教員が授業アンケートを元に、担当科目について学生の理解が深まるような授業展開を工夫していく必要がある。 5. 日常における人権感覚について学生だけでなく教員も高めるよう研修を実施する。